



## I 目標像と4つの基本方針（案）

- 現在の自転車利用の課題を踏まえると、大きく「走る」「止める」「守る」「伝える」の4つのキーワードが重要となると考えます。これらの4つのキーワードを「基本方針」と位置付け、「走る」「止める」「守る」「伝える」の取組を相互に連環させながら、施策を繋げていくことが重要であると考えます。
- またこれらの取組にあっては、自転車の利用環境をつくる行政や、実際に環境を使う利用者、まさに暮らし働く区民が、自転車環境について相互に理解し、一緒に連携して進める、関係者同士のつながりも重要となります。

### ■計画の目標像(コンセプト)(案)

自転車の  
**わ**  
環・輪・和・話

新宿区 自転車等総合計画  
 つなげよう、自転車の「わ」

環・輪・和・話  
**「わ」**

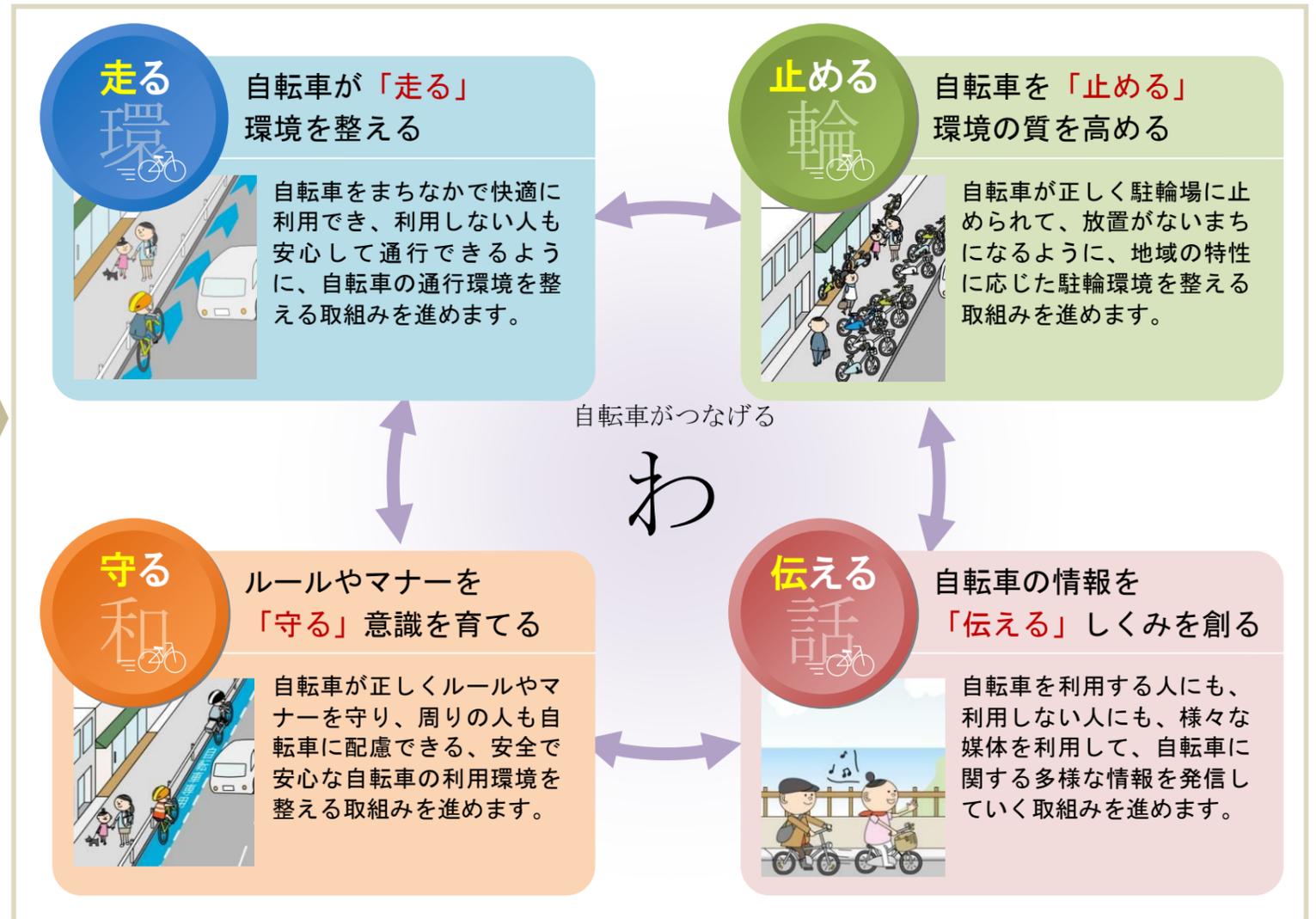
環境に優しい自転車でまちを巡り、ルール・マナーを遵守して自転車を楽しむ

自転車は、健康的で、環境にもやさしく、まちを巡る移動手段やサイクリング等の余暇の1つとして、多くの人々に利用されています。

一方、自転車を利用する立場と利用しない立場では、それぞれ自転車に対する意識が異なります。

この総合計画は、自転車利用者のみならず、自転車を利用しない人にとっても、快適な通行環境が形成できるよう、自転車利用の環境整備や正しい自転車の利用方法、そして自転車に関する情報発信等について、区の方針を示したものです。

### ■4つの基本方針(案)



## II 施策体系図（案）

- 前述の「新自転車等総合計画」の目標像の実現に向けて、今後、4つの基本方針に合わせて個別具体の施策を検討していきます。この基本方針に従った施策の方向性として、例えば「走る」では、通行空間整備とともに、自転車シェアリングの充実も重要と考えられるため、施策検討段階にあってはさらに細かな枠組みをつくり、検討を進めていく予定としています。これらを含めた施策体系図（案）を以下に整理します。

